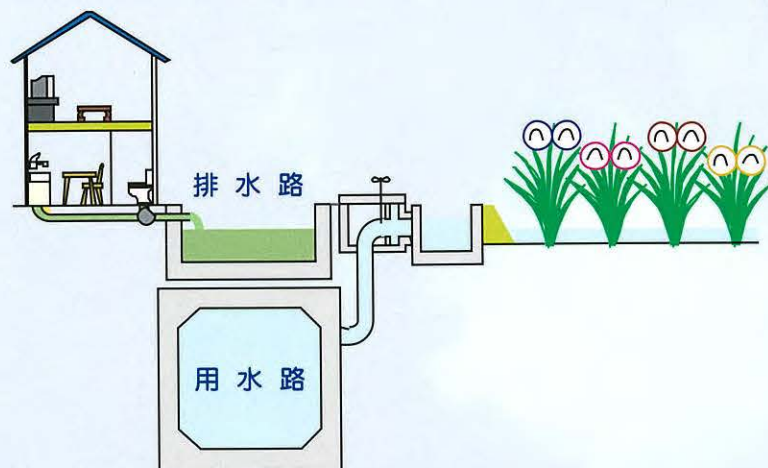


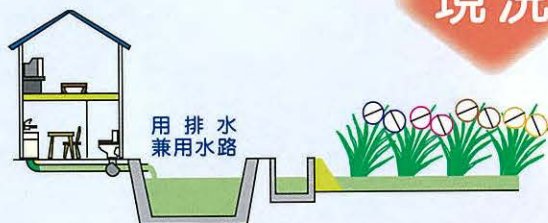
事業の目的

■ 用排分離による水質改善

本地区内の水路の多くは用排兼用水路であり、都市化・宅地化の進展により家庭雑排水等の流入が増加し水質が悪くなっています。本事業で「**農業用水専用の水路**」を整備することにより、農地に“きれいな水”が直接配水されます。



現況

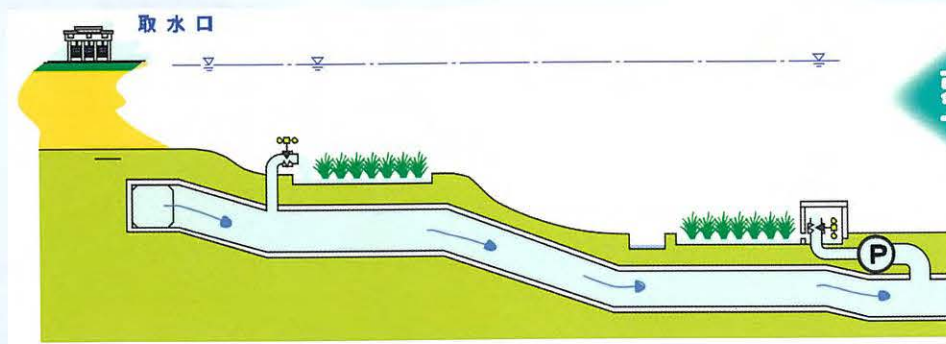


整備後

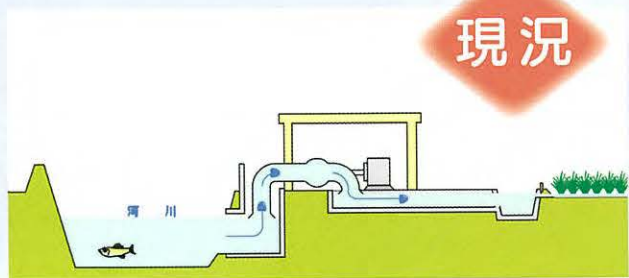
■ 取水口の統合と高低差を利用した農業用水の配水

これまで利用されてきた約100ヶ所におよぶ地区内河川からの取水施設を、吉野川下流域地区内上流部の**柿原取水口**と**第十取水口**に統合します。この新しい2ヶ所の取水口と農地との高低差を利用して農業用水を配水することで、河川からのポンプアップが不要となります。

(※末端パイプライン化を計画している地区では、加圧機場が必要となります。)



現況



整備後

地域の現状

農業用水の水質悪化

吉野川下流域地区の農業用水は、主に吉野川、旧吉野川、今切川に依存しています。地区内の水路の多くは用排兼用水路となっており、家庭雑排水等の受け皿としての役割も果たしてきましたが、地区内の都市化・宅地化が急速に進んだことから水質の悪化が顕著になっています。



▶ 地区内水路のゴミ混入状況

農業用水施設の分散・老朽化

吉野川下流域地区では、地区内河川に設けられた約100ヶ所の取水施設および400ヶ所を超える地下水井戸を利用して農業用水を取水しています。しかし、施設の老朽化等により農業用水が安定的に確保しにくくなり、維持管理費も年々増えてきています。



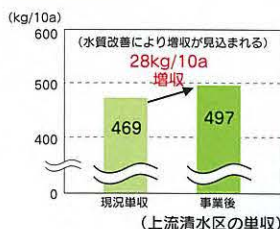
▶ ゴミが集まった樋門付近の様子

事業の効果

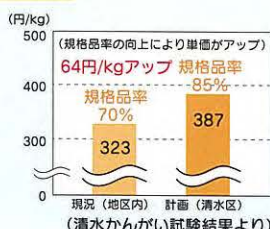
きれいな水で元気な農産物生産

吉野川のきれいな水を利用した農業により、農産物の**収量増加**や**品質向上**が見込まれます。また、最近では**“安心・安全な農産物”**に対する消費者の関心が高まっており、きれいな水による農業は、下流域地区農産物のイメージアップ、ひいてはブランド化につながります。

水 稲



れんこん



▶ 清水区 (水道水利用)

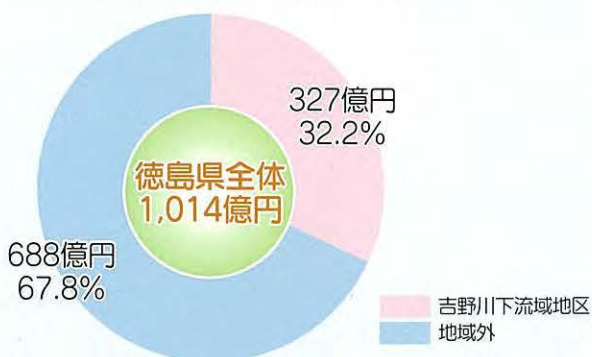


地域の農業

県下最大、西日本有数の農業地帯。それが吉野川下流域地区の姿です。

西は阿波市、東は鳴門市・徳島市に至る吉野川下流域地区は、県下最大の農業地帯として、さまざまな農産物を生産してきました。藩政の時代には藍の一大産地として栄え、現在は豊かな吉野川の水をよりどころにコメやにんじん、かんしょ、レンコンなどの農産物を主な生産物として、県内はもちろん京阪神方面への食料供給基地として大きく発展しています。

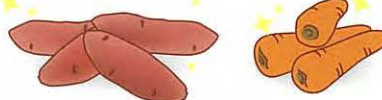
「平成27年 徳島県農業産出額」



出典：徳島農林水産統計年報 平成28～29年
農林水産省 中国四国農政局徳島県拠点

● 価値の高い農産物が生産されています。

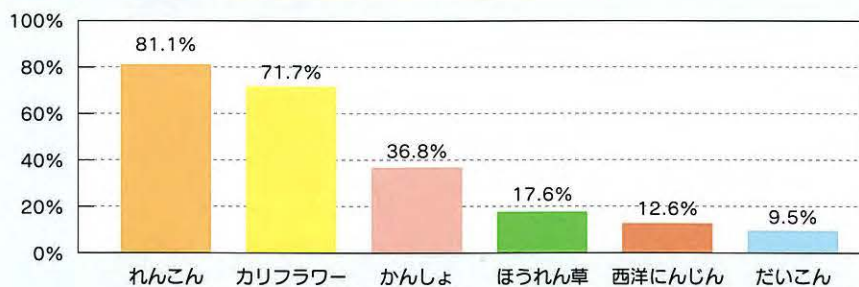
吉野川下流域地区の耕地面積は徳島県全体の約30%ですが、年間を通じた耕作と“なると金時”や“とくしまにんじん”に代表される付加価値の高い農産物の生産により、質・量ともに高い水準の農業を実現しています。



県内産の農産物が全国の台所で活躍しています。

徳島県内で生産された多くの農産物が全国の市場で流通しています。なかでも吉野川下流域地区は本州四国連絡橋（神戸～鳴門ルート）の全線開通にともない、より近くなった京阪神地域への農産物出荷が拡大、都市圏への一大野菜供給基地としての役割を強めています。

大阪市場での徳島県産農産物の占める割合



たくさんの人が、
徳島の野菜を
食べているんだね！



入荷量順位	れんこん	カリフラワー	かんしょ	ほうれん草	西洋にんじん	だいこん
第1位	徳島	徳島	徳島	徳島	北海道	長崎
第2位	佐賀	長野	大分	岐阜	長崎	北海道
第3位	兵庫	福岡	茨城	福岡	鹿児島	岩手
第4位	熊本	大阪	熊本	和歌山	徳島	徳島

出典：平成29年 大阪中央卸売市場 青果物流通年報 大阪府中央卸売市場管理センター株式会社

中国四国農政局 四国東部農地防災事務所

〒779-0105 徳島県板野郡板野町大寺字王子72-2 TEL.088-672-5252 FAX.088-637-5005

ホームページもご覧ください

国営吉野川

検索

